

# 珠は自分のなかに

ロータリアン誌10月号より

真珠採りのダイバー（あま）の作業をご覧になったことはありませんか。私は以前にその現場を見て感じたことをいまでもはっきり覚えています。

水面からは海底の美しさとそこに潜む宝を見ることはできません。しかしダイバーは透視眼を持っているようです。

ダイバーは水に潜って、上からは見えない宝を探し、時折真珠貝を両手ですくうように持って浮かび上がってきます。その貝の中に宝の珠<sup>たま</sup>がかくされています。珠を見つけるためには表面からばかり見てないで、底に潜らなければなりません。ロータリーも多分にこの真珠貝に似かよったところがあります。

皆さんが持つ“英知の真珠”の1つは「四つのテスト」ではないでしょうか。このテストは、事業、職業生活で私たちを導く単なる羅針盤ではなく、私たちの生活のあらゆる面での道徳的規範といえましょう。皆さんおなじみのこのテストを使って自分自身を良心的に見つめなおしてみようではありませんか。

## 真実か どうか

- 自分は本当の意味でロータリアンだろうか？
- 自分のクラブとのかかわりにおいて、いつも正しく誠実に行動しているだろうか？
- ロータリーの正しさを人々に説き、身をもってそれを示しているだろうか？
- ロータリーを通じて社会のため人のために役立ちたいと思っているだろうか？ それともロータリーが何か自分のためになることをしてほしいと思っているのだろうか？

## みんなに公平か

- 共通の理想を分かち合う仲間の会員と公平に接しているだろうか？
- 仲間の会員に負担がかかりすぎないように、

R I 会長 パウロ V. C. コスタ

- 自分の役割を果たそうとしているだろうか？
- 一批判する前に、事情を理解しようと努め、公平な判断をしようと努めているだろうか？
- 一自分自身に公平だろうか？
- それとも自分はほかの人より良い（あるいは悪い）と思っているだろうか？
- 一だれに対しても同じ規準で計っているだろうか？

### 好意と友情を深めるか

- 一善意を実際の行動で示しているだろうか？
- それとも「私にはできない」という言い訳を探してはいないだろうか？
- 一調和と協調を保っているだろうか？
- クラブで波風を立たせるようなことをしてはいないだろうか？
- 一クラブで仕事の上でのつながりだけを求めているだろうか？
- それともロータリー精神に忠実で、みんなの良い友人になろうとしているだろうか？
- 一派閥というか気の合った同士だけで集まろうとしてはいないだろうか？
- それともすべての会員と仲良くやっているだろうか？

### みんなのためになるか どうか

- 一ロータリアンとしての自分の行為がクラブのためになっているだろうか？
- 一クラブへの義務を果たすのに、自分の能力や知識、指導力を生かしているだろうか？
- 一ロータリーのために役立ち、あるいは利己心を捨てようと努力しているだろうか？
- 一社会のためになることを実践して、ロータリーの理想を地域社会に広めようとしているだろうか？

成功している人、成功する人は自分自身を反省する勇氣を持っています。改めるべきことは改める決断力を持っています。自己満足に陥っ

てはけません。

皆さん、ロータリーでも自分自身の場合でもうわべだけでなく、底にあるものを見つめて下さい。自分の中に秘められている珠を引き出して下さい。それを、周囲の人々と分かち合ってください。言行はこれに照らしてから、という「四つのテスト」の神髓はここにあります。真剣になってロータリーに飛び込んで下さい。そこで見つけた不可思議なもので、ご自分の人生とまわりの世界を豊かにして下さい。

(R I 指定記事)

### 環境保全活動 “ゴー” サイン

去る7月2日、パウロ・コスタR I会長夫妻は、3年計画の「われらの天体、地球の保全」プログラム実施のシンボルとして、ヌトカ・ヒノキを植樹。場所は今年度最初のR I理事会開催地・カナダ、バンクーバーのウェスチン・ベイショア・ホテルの庭。植樹には理事会メンバーと地元のロータリアンが立ち会いました。なおこのヒノキはヒュー・アーチャー前年度R I会長からのプレゼント。(R I 指定記事) 19ページ以下参照



# 職業奉仕を 活性化しよう

Vocational Service—Let's make it vital

ロータリアン誌10月号より

R I 職業奉仕委員会委員長 マーセル・コーバット

世のため人のために尽くすことがロータリアンのまず第1の課題です。ロータリーのユニークな点は職業分類制度(ロータリー用語早わかり欄参照)にあり、それぞれの職業は、奉仕の絶好の機会を私たち1人ひとりに与えています。

平日、仕事の場にいる間のすべての時間が、職業奉仕の機会なのです。私たちが社会に対して最も堅実な奉仕ができるのは、この時間です。仕事の場においては、ひとりのロータリアンとして、従業員から社会の一般の人たちに至るまで、仕事上接する相手には常に、ひとりのロータリアンとして、倫理の観点から恥ずかしくない行動をとらなければなりません。

## 職業奉仕に関するR Iの新方針の一部

あらゆる職業のメンバーが集まって作りあげているロータリークラブの組織を活用して私たちはグループとして、自らの職業上の知識をそれを必要としている人たちに提供することもできます。

このことは、職業奉仕に関するR Iの新方針の重要な一部をなしています。その新方針とは、これまで以上に、現在と未来の社会をつくりあげるのに欠くべからざる役割を果たしている、職業訓練、専門職業教育を推進しさらにまた職業上の知識を活用することです。

ロータリアンは、この奉仕の第2部門を介して、現代のビジネス界が抱える数多くの問題の解決に役立つ情報や知識の供給源になれます。こうした問題の中には、専門家の技術的助言を

必要としている開発途上国の中小企業を援助するとか、引退はしたが、まだまだ社会に役立つことを願っている先進国の人材の活用といった事柄も入ってくるでしょう。職業奉仕の新しい方針を通して、ロータリアンは、国内でも、国際的な舞台でも、力を合わせて、失業、職業教育、青少年向けの職業訓練、技術上あるいは専門職業上の助言といった問題に深くかかわり合うことができます。

ロータリアンは、R Iおよびロータリー財団の数多くの職業奉仕のプログラムに自らの専門知識を提供できます。その1つの例に国際職業連絡グループ(I V C G)があげられます。これは、同じ職業のロータリアンの間につながりを持たせるのを目的とした試験的なプログラムで、各I V C Gは、少なくとも3人のロータリアン(出身国が違うことが望ましい)を同じくボランティアの委員長が組織するグループです。同じ職業で結ばれたI V C Gのメンバーは自らの職業を通じて国際奉仕と国際理解を促進させるのに協力します。例えば、気象学者たちのI V C Gは、それぞれの出身国の「温室効果について情報を交換し合うことができます。

## 倫理を重視

新しい職業奉仕の方針はまた、職業の場における倫理の問題を重視しています。株式会社はその登記を政府から承認された合法的な組織ですが、その存在自体は人々のために尽くすという理念に基づいています。事実、株式会社とい

う概念は、その存在が公衆の福祉を生み出すという考え方から発展してきたものです。

企業が国民全般と社会全体に対して負っている責務は、重要度において、その従業員や株主に対して負っている責務に決して劣るものではありません。企業経営者の永遠のジレンマは、社会的責任を果たしつつ、いかにして企業を存続しつづけるだけの適切な利益を常に確保していくかというところにあります。

株式会社の経営者がこのバランスを崩したら公衆は徐々にこれに気が付き、その社の製品やサービスを買わなくなっていくます。事実、多数の企業が社会的責任に考慮を払わなくなると、現存の経済体制と社会体制への公衆の信頼が損なわれ、経済、社会、政治の危機という本物の危険を招き寄せることになります。最近東欧やアフリカや南アメリカで起きた革命は、このことを実証しています。

### アウレリウスが残した指針

2000年前、ローマ皇帝で哲学者のマルクス・アウレリウスは、今日でもなお、企業経営者や専門職業人のための指針として十分役立つ助言を残しています。それには「まず第1に、どんなことであろうと、考えなしに、あるいは目的を持たずにしてはならない。第2に、自分の行動が社会の目的に合致しているかどうかを確かめよ」とあります。

自著『役員室のパニック』の中でウィリアム・キャビットマンは、そこで企業が自らの行動を社会の目的に合致させようとしている、4つの公共のニーズの分野を挙げています。

①企業はこれまで犯した環境保護上の過ちをただし、新たな過ちを犯さないようにしなければならない。

②企業は従業員に適切な待遇をしなければならない。

③企業は顧客と消費者に適切な配慮を払わな

ければならない。

④企業は全般的な生活の質の向上にその力を集中させなければならない。

今日の世界においては、こうした公共のニーズは現実的かつ正当なものとみなされます。公衆が自由企業体制に信頼を持ち続けるには、実業界がこれらのニーズにこたえるべく指導力を発揮しなければなりません。

### 職業宣言の意味するもの

ロータリーは先ごろ、その綱領に掲げられている高い道德水準を維持するために、ロータリアンの指針となる職業宣言を公表したことで、実業界において指導的役割を果たしていることを実証しました。8項目からなるこの宣言は、①職業を通じて奉仕すること②それぞれの分野におけるの道德規準に忠実であること③雇主、従業員、同業者、顧客に対し公正であることそして④地域社会の生活の質を高めることで、先述の4つの公共のニーズにこたえています。

職業奉仕を実行するに当たってロータリアンが知っておかなければならない、あるいは勉強しておかなければならない特別の規則はありません。同じ地域社会の人たちを助けたいという真剣な願望が動機であるだけでよいのです。行動はすぐに、この動機のとをついてきます。

パウロ・コスタRI会長は、このことを十分に承知して、職業指導を通じて「ロータリーを高めよ 思いを尽くし熱意を尽くし」とロータリアンに呼びかけたのです。ロータリアンは、「事業および専門職業の道德水準を高め、あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるとの認識を深め、そして、自らの職業上の手腕才能を社会の問題やニーズの解決に役立たせる」ならばコスタRI会長の要請にかなうことができましょう。

職業奉仕をたんなる口先だけの善意を超えたものに高めようではありませんか。(RI指定記事)



ある分野における

## 職業倫理観

第274地区前ガバナー

村上 明 (長崎北)

科学者が生物の進化の歴史を調べていくうちに、生物の中に「遺伝子」という酵素元素の一種があることを発見した。これを研究していくと、35億年前にさかのぼって生物の発展進化の過程がはっきりと分かり、また遺伝子と遺伝子とを部分的に組み換えることによって、生物の改造変革が自由にできるというのである。

遺伝子の組み換え実験に成功したのは1972年米国スタンフォード大学のコーエンとボイヤーの2人の科学者であった。それ以来この技術を人間に応用することの是非について、人倫上数十年もの長い間世界中で論議を重ねてきたところであるが、アメリカではいよいよ人間に応用するようになったと聞くのである。

この技術を動物に応用して人工的に変化した牛や豚が生まれたという話は聞くが、アメリカの科学者たちは一体どんな人工人間をつくらうとしているのだろうか。小規模の改造作業なら知らず、神が授け給うた人間の生命にみだりに手を加え、好奇心的の作為もしくは「実験」という功名心での操作によって、遺伝子の異種混合でできる「怪物人間」が一個の生命体としてこの世に出現した場合はどうなるのか？ 人倫にもとり人間の尊厳を冒す恐ろしい、悲しい、とり返しのつかない人間の未来が無気味である。

全米アカデミーは遺伝子組み換えて、生物を野外に出す場合「環境に危険がないかどうかを科学的な方法で厳密に確認せよ」と強制し、野外実験を行う前に、その微生物の遺伝子組み換えの過程で、その生育条件に少しでもあやしいものが見当たれば、即時にその微生物自体を破

壊してしまう「自殺遺伝子」を組み込む義務を課して、許可しているのである。

バイオ事故は「エンドレス」といって、いったん間違いが起これば恐ろしい化け物の出現や実験室から流れ出た遺伝子ウイルスが、「エイズ」のように野放しの猛威をふるって、やがて人類の滅亡につながるという保証はどこにもないのである。

そのほか類似の生命科学に対する恐怖は、①受精卵の操作による職業人の倫理問題。②「脳死」と臓器移植に関する職業人の倫理問題……「脳死」後84日目の母親から健康な赤児誕生というニュースなどもあって、人倫問題が深く関与。③かつて30年も昔に見た映画「ドクターモローの島」のように、人間がつくった科学技術がやがて学者個人の倫理無視の恣意的操作の結果、科学技術がひとり歩きして、人間の手に負えなくなるという恐怖。④生命科学だけではなく私共の懸念材料は各種職業分野に無数に存在してきたところであって、戦争が終わって世界平和が訪れると、今まで隠れていた地球上の危険と不祥事が一緒になって一度に噴出する勢いである。

会員110万人を擁する国際ロータリーは今こそその強い影響力を駆使して傘下会員に「企業倫理」と「職業倫理」を強く訴えて警鐘を乱打すべきであろう。そしてロータリアン一人ひとりの知性によって世界の未来を見通す「先見性」と、国家人種を超えた世界最大の平和団体の実力をもって強い「抑止力」になっていただきたいのである。

(ロータリーの友 顧問)



## 「四つのテスト」と日米摩擦

第266地区バスターガバナー

松本 良諄 (大阪東)

四つのテストはシカゴのロータリアンで、後の国際ロータリーの会長ハーバート・テイラーが会社再建のために実践した経営指針を、職業奉仕のプログラムにとり入れたものであるが、わが国で果たして、十分納得されているであろうか。率直に言って、単にお題目として唱えている人や、中にはこんな奇麗事では商売はできないと考えている人もあるようである。このような違和感ないし誤解があるのは、一つには日本語訳のせいであろうが、近年やかましい日米摩擦の原因と見られる両国の国情や文化などの違いによるところが大きいと思われる。

まず、日本語訳を見てみよう。

1 truth; 「真実は神のみぞ知る」といった絶対的なものではなく、事実そのまま偽りはないかであり、これがすべての前提である。

2 fair to all concerned; みんなに公平かと訳されているが、フェアは契約社会でルール(社会規範、法規など)にかなうことである。すべての関係者—経営者、従業員、取引先、顧客などに対してルール違反をしていないか、自問するのである。

3 good will; 好意より一步進めて 善意すなわち思いやりをもって、相手の立場に立って考えれば、おのずから友情は深まる。個人主義の国アメリカが紐帯の強い社会を形成している理由の一つは善意を大切にすることであろう。

4 beneficial to all concerned; 日本語訳 みんなのためになるかは精神的、道徳的響きが強いが、英文は、ずばり関係者みんなに利益になるかである。会社が利益を上げることが従業

員の利益となり、ひいては皆の利益につながる

と締めくくっているのである。  
ちりぢりばらばらの従業員を一致団結させるために、テイラーが考えた四つのキーワードは期せずして、多民族国家アメリカの統一原理と合致したため、彼をはじめ、これを活用した多くの企業家が成功したのである。四つのテストはアメリカでは現在も、従業員のモラル向上や経営のチェック機能として活用されているが、注目すべきことは、日本では四つのテストに無関心であった人が在米子会社に出向して、これを利用していているという。このことは如実に日米の経営風土の違いを表しているといえよう。

そもそも、日米摩擦の根源はアメリカ側が、日本のやり方はロータリー風にいえば、四つのテストに反すると考えている所にあるのではなからうか。もしそうであれば、四つのテストは日米摩擦を解くカギの一つと考えられ、国際理解の上でも重要な手がかりであるから、いよいよもって、論語読みの論語知らずにならぬよう、その文字づらだけでなく深奥まで読みとる必要がある。

それと同時に、わが国にも見做らすべき先覚者や優れた社是、社訓が多いのであるから、ロータリアン銘々はそれらをよく学び、自らの立場、経験を踏まえて、ロータリアンにふさわしい職業観を保持するよう努めるべきである。

終わりに、本稿は横浜磯子R.C.の畏友田中圭氏の、日米間にわたる経営活動の体験談に触発されたものであることを記して、同氏に深く謝意を表する次第である。

# 諸外国と日本の労働者雇用の現況

## 職業奉仕の声明に関連して



第273地区バストガバナー 岡村 俊一（鹿児島）

1987—88年度理事会で採択された「職業奉仕に関する声明」によって「職業奉仕はクラブと会員両方の責務である」とすることが明記されました。またクラブに4つの小委員会の設置が奨励されています。

その背景として、新技術の発展による熟練労働者の冗員化、女性の労働市場への進出などがあげられ、小委員会の任務として、職業訓練・教育の支援、青少年の雇用の推進・指導、専門分野と雇用機会のミスマッチ解消、高齢者の再雇用・活用の支援、労使関係の改善、男女雇用機会の均等、新職業分類などの職業情報の普及、職業活動表彰などが示されています。

これらの問題について世界と日本の職業社会の雇用の比較ならびに雇用関連の日本の法制上の環境について紹介します。

### I) 世界の雇用の現状（先進工業国およびN I E Sを中心として）

1983年半ば以降のアメリカの景気拡大に伴って、先進工業国の経済環境は比較的安定、推移している。また発展途上国でもアジア新興工業国・地域(N I E S)を中心に経済成長が急速に進んできた。このような経済情勢の改善によって、労働市場でも一般に雇用失業の改善がみられるが、地域による格差は依然として大きい。

1987年でスペインの20%を最高にオランダ12.6%、フランス10.6%、イギリス10.4%、西ドイツ7.9%、アメリカ6.2%の高い失業率が続いている。日本は2.8%で10年間2%台を維持。一方N I E Sでは韓国3.1%、シンガポール4.9%、タイ6.7%、マレーシア9.1%、フィリピン

5.7%とGNPの成長に伴って失業率も改善の方向にある。

先進工業国の失業問題で注意を要するのは以下の5項目である。

(1) 若年失業問題：一般に各国とも若年労働者の失業率は全体平均の2～3倍で日本と西ドイツ以外は10%を超えている。最近改善の方向にあるが1987年スペイン38.9%を最高に、イギリスでも、20%台から17%台に改善されているが、日本以外の各国とも高水準が続いている。

若年失業の要因としては、①高い労働移動率②日本のような新規卒者の定期採用がなく、欠員あるいは増員時の採用、③労使協約により、レイオフおよび復帰時の勤続年数による優先慣行、④賃金と職業能力比などがある。その改善策として効果をあげているのはイギリスで見られる公共職業紹介所の面接指導の強化、職業訓練制度の充実で、ヨーロッパでも西ドイツ、スイスの伝統的職業訓練制度によって、職業能力をもった若年労働者には失業問題はない。

日本の場合進学率が高く、採用後の現場研修の重視、年功序列型賃金体系、労使協約に先任制度がないなどの理由で若年失業者は極めて少ない。しかし半面中高年の雇用問題の欠点としてはね返っていることが指摘されている。

(2) 技術的失業：技術の発展により、生産技術や事務処理の革新によって①省力効果、②技能の陳腐化による技術的失業が問題となった。

しかし、イギリスの例をとると、1979年から増加が始まった失業は、1986年以降改善の方向にある。これは若年労働者を含めて、特別雇用、面接・指導・訓練の公的対策の強化の効果で、特

に職業訓練制度の拡充・強化は世界の失業対策として重視されている。

(3) **女子労働者とパートタイム労働**：先進工業国での労働人口に占める女子の比率は高くなって、スウェーデンの49%を最高にイタリアの28%が最低。アメリカは42%、日本は38%。特にパートタイム労働に占める女子の割合は高く、ベルギーの93%、西ドイツ90%を最高にアメリカ67.6%、日本は73.3%となっている。

(4) **外国人労働者問題**：工業先進国での外国人労働者の雇用の歴史は古く、経済環境の変化による不安定要素となって、西ドイツの例をとると失業率は平均の1.5~1.6倍。さらにその2世はその2倍となっている。日本では1987年後半から政策的課題となってきた。

(5) **高齢者雇用問題**：日本以外の国では顕著な問題となっていない。

## II) 日本の雇用に関する法制上の環境

日本の労働関係の法規は第二次大戦後アメリカの諸制度の導入によるが、その後、日本独自の慣行と経済発展によって他の先進工業国の法規に比して高水準に整備されている。

(1) **新技術による職業分類の多様化**：労働省職業安定局・雇用職業総合研究所編の「労働省編職業分類(職業名索引)」によれば職業名は約25,000にのぼり、例えば新職種として、コンピュータ技術関係で12、原子力技術関係で5分類32、電子機器技術関係で25、半導体関係で5、バイオケミカル技術関係で13を数えるなど最新の技術に至るまで公的に把握されている。

(2) **職業安定法**：職業紹介、募集、労働者供給事業、求職者に対する職業指導、雇用保険の適正な運用を規定している。

(3) **雇用対策法**：労働力の需給の質量両面にわたる均衡の促進、労働者の能力の有効な発揮による職業の安定と経済的、社会的地位の向上を図り、完全雇用の達成を目的としている。職業指導および紹介の事業の充実、住居を移転して就職する労働者に対する施策、就職の困難な者に対する対策、職換え、地域間の移動、職場

への適応などの援助、高齢者の職業安定のための定年の引き上げの円滑な実施を施策の対象としている。

(4) **職業能力開発促進法**：雇用対策法と相まって職業に必要な労働者の能力を開発し、向上させることを促進して職業の安定を図ることを目的としているが、この法律の中に関係者の責務として、事業主はその雇用する労働者に対して必要な職業訓練を行うとともに職業訓練、技能検定などを容易に受けられる必要な援助を行うことを義務づけている。職業能力開発計画の策定、職業能力開発の促進、職業訓練法人などについても定めている。この法律によって技能労働者、高度技能技術者の養成、職種職換に必要な能力再開発、身障者のための職業訓練、雇用需給のミスマッチ解消のための調整など公共認定施設の設置・拡充を進めている。

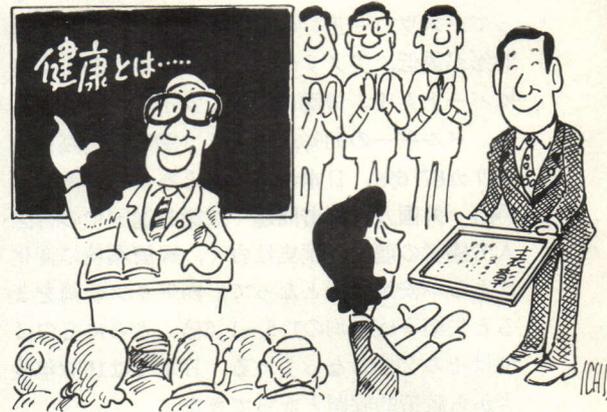
(5) **その他の雇用関連法**：前述の3法は日本の雇用の安定・確保の根幹となっているが、これを補強して実施するために次のような法制が整備されている。

- ①「雇用の分野における男女の均等な機会および待遇の確保など女子労働者の福祉の増進に関する法律」(男女雇用機会均等法)
- ②「パートタイム雇用対策要項」
- ③「身障者の雇用促進等に関する法律」
- ④「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」(60歳定年法・高年齢者雇用安定法)
- ⑤「地域雇用開発促進法」
- ⑥「労働者派遣事業の適正な運営の確保および派遣労働者の就業条件の整備等に関する法律」(労働者派遣事業法)
- ⑦「総合雇用情報システム」

以上のように日本の労働関係の特に雇用関係の法制は整備されています。したがって職業奉仕の新方針の背景となった世界一般の職業社会における現況を理解するとともに、日本の職業社会の中にある日本のロータリーとしての職業奉仕のあり方について考える必要があるように思います。

(参考文献 省略)

職業奉仕活動の事例を以下に紹介します。資料は前年度の『友』地区委員へのアンケートの報告書をもとに、よく行われている事例を除き、特色のあるものを主に抜粋、集録しました。今後の活動のために、何らかのヒントが得られればと思います。 —『友』編集部



## クラブとしての活動

### ロータリアンの氏名・職業を登録

—市の産業課にロータリアンの職業を登録、  
＜マイクロバス、土砂運搬車、建設機械保有者  
などを登録＞ 緊急、災害時の協力体制を常時  
準備している。（北本）

—「シルバーカレッジ」教養講座。高齢者向  
けワープロ入門講座、健康（老人病）、法律（遺  
言など）、税務（相続税）、その他、講師はロー  
タリアンが担当。（東京八王子西）

—職業による奉仕分野別（健康セミナー、法  
律・税務相談、園芸指導、利殖、法話など）に  
ロータリアン名を区役所に登録、地域社会の要  
請に対応している。（東京大森）

—会員が専門職業を生かして講師となり「ロ  
ーターふるさと塾」を開催。（敦賀）

—新方針についてのフォーラム開催や小委員  
会の設置など。（第262地区各RC）

—就職相談、職業指導、職業情報、職業活動  
表彰の4つの小委員会をクラブ内に設置。（巨  
理、仙台西、塩釜、盛岡北、甲府など）

—職業活動表彰委員会が会員事業所の創業記  
念日に会員氏名入りの広告（2,000円）をRC  
会報に掲載、集まった資金で市立救護施設「葛  
城園」で働く15人を表彰。（和歌山東南）

—友愛委員会を設け、会員の職業上から会員  
へアドバイス提供。特に弁護士、税理士、医師  
会員など。（第272地区のRC）

### 人手不足に人材交流を計画

—人手不足解消のための勉強会開催と、国際  
奉仕委員会を通して、東南アジア地域のRCと  
提携し、人材交流を計画。（寒河江）

—職業指導委員会が中高年齢者の職業指導を  
するため役場広報紙でPR。雇用促進法に抵触  
しないよう公共職安の指導を受ける。（巨理）

—チャーターメンバーによる職業奉仕に関す  
るスピーチを実施。（日高）

—シルバー人材の情報伝達センターを設けて  
手伝いや作業の紹介をしている。（中湧別）

—高齢者勤労センターとRCとの相談会を開  
き、協力し合うことを決定。（留辺蘂）

—親睦と職業奉仕の両委員会共催で、毎年、  
1泊旅行を兼ねた各種の工場見学。（横浜）

—市民祭で街頭無料相談会。（船橋東）

—女子型の誘致工場が多いので、工場訪問し  
激励、優良従業員の表彰。（西馬音内）

—大阪RCほか市内13RC共同で3人の伝統  
工芸職人に、第1回「ロータリー職業奉仕賞」  
を贈る。今後はホストRC持ち回りで継続。

—「四つのテスト」の唱和、地域社会へのP  
R。（新潟東、五泉、十日町、館林など多数）

—社是、社訓の調査。（新潟南、高田）

—職業訓の掲示、例会時に唱和。（狭山）

—「職業奉仕四つの反省」を掲示。「職業ジ  
ャーナル」を発行。（入間）

——「職奉ニュース」を発行，地区内の各クラブに配布。（志木）

——佐藤千寿PG著「職業倫理」の版權がクラブに寄贈され，以来，希望に応じ全国の会員に頒布している。（東京東）

### 高校生やIACメンバーを対象に

——養護学校生徒の職業訓練，外国人留学生に職業実習訓練。（坂戸）中国残留孤児帰国者に対するアプローチ，定着促進運動，援助のよびかけなどを実施。（坂戸，志木）

——企業，高校生，RCが合同で「地元企業就職促進懇談会」を開催。（花輪）

——就職希望の高校生対象に講演会や講話「わが社が望む人材像，就職の心構えなど」と模擬面接」の実施。（秋田南，小松東，和歌山南，京都東，京都西など多数）

——夏休み中，IACメンバーを会員事業所で「1日職場体験」を実施。（旭川，東広島）

——高校生の就職相談。3年生を対象に企業案内の会を開催。（巨理，海南東など多数）

——IACメンバーを中心に事業所見学会実施。（横手）

——就職希望の高校生を対象に会員企業への体験入社。（弘前）

——市内3高校から約20人を市役所の市民課，消防署，保育所，廃棄物焼却場に1日職員として派遣，実施して14日目。（浦和）

### 個人としての活動

#### 心身障害者らを多数雇用

——自分の経営する会社で心身障害者らを長年にわたり多数雇用。（佐藤良平君・米沢，田中善六君・福島，畑中文治君，高見清司君・羽曳野）

——地域の糖尿病患者，一般市民の個別相談，出版物による教育，講演，メディカルスタッフの研修会など，10年間にわたり糖尿病について活動している。（斎藤登君・帯広東）

——能代港護岸岸壁を「はまなす画廊」として

市民に解放，制作委員長および看板製造業の腕を生かし壁画を制作。（浅田嘉美君，大友徳蔵君・能代南）

——定年退職の自衛隊員を優先採用し，たびたび感謝状を受ける。（夏井光男君・八戸北）

——音声言語医学の専門医師の立場から視覚障害者のための録音奉仕者に発声トレーニング，全国朗読指導技術講習会などを通じて，正しい発声，発語の指導に当たっている。（米山文明君・東京城南）

——余裕のない中小企業に対し無料で税務相談に応じている。（某税理士・横浜南）

——社長として従業員の氏名はもちろん，その家族構成まで熟知。（第259地区・段ボール工場社長）

#### 23年間放送番組を担当して

——過去23年間，毎朝，福井放送で「農業のしおり」の番組を担当中。（武田哲夫君・鯖江）

——名刺に「四つのテスト」を印刷し，普及を図っている。（長谷川君・秋田東）

——サフリーマンを対象に確定申告の指導と相談に応じている。（第267地区の会員）

——毎朝5時から診療開始。倉敷市医師会長として，看護婦教育施設の新設，改善，充実，市全域の病・医院にファックスを導入させ情報交換が飛躍的に迅速化した。（佐藤博君・倉敷南）

——竹工芸家として，8年ほど前から肢体不自由施設整肢園を訪れ，竹かごなど竹細工の指導をしている。（白石忠行君・別府東）

——中国・桂林市民病院へ医療機器を多数寄贈し，その指導に当たる。自分の病院に中国の医師や看護婦を招いて研修の機会を与えている。（永野義孝君・西天草）

——保健婦とともに自家用車で地域の独居老人を自分の温泉浴場に招き，入浴させ，また送り届けている。（大林生典君・山鹿）

——鹿大水産学部教授として，漁業資源の増大を図るため，各国に招へいされ，国際的な活躍を続けている。（金澤昭夫君・鹿児島東南）

（まとめ・浅見）

# 外国にみる職業奉仕の事例

ロータリアン誌10月号より

ロータリアン誌編集部

## 南米で生まれた友情奨学金

「経済の発展を妨げているのは、教育の低さだ」と、アルゼンチンのコルドバRCヤネス元会長はいう。開発途上国では学齢に達した子供の4割もが、学業を途中でやめ、不熟練労働者として、ただでさえ失業率の高い労働人口の中に大挙して入ってくるという事情がある。

この問題に挑戦しようとコルドバRCは、18年前に「中南米の友情」と名付けた奨学金制度を発足させた。

ボリビア、チリ、コロンビア、エクアドル、パラグアイ、ペルー、ウルグアイ、ベネズエラのRCもこの制度に参加したことで、開発途上国での教育活動に不可欠な国際性がこのプログラムに加わった。協力するロータリアンの職業が多岐にわたっていることが、この制度の成功のカギとなっている。

参加国のRCが推薦した候補の中から選ばれた奨学生は、コルドバの教育機関や企業で最低3カ月間研修を積み、友情を深めて帰国する。

## 学生に職業知識を伝える

しかるべき資格のある従業員をみつけて空いた部署を埋めないことには、企業は、今日の市場で競争していくことはおろか、生き残ることさえ不可能なのに、今の教育制度は社会が必要とする資格を持たない新卒者を送りだしている。

こうした現実を踏まえて、米国、ジョージア州のマリエッタRCは、地元の高校生に企業が従業員に期待する技能を教えるプログラムを1989年から実施している。

このプログラムを準備するに際して、マリエッタRCは、400人以上の実業家や専門職業人を対象に、雇主の関心事がなんであるかを調査した。そして、意外なことが分かった。雇い主が従業員に求める資格でトップにきたのは、円滑なコミュニケーションができる能力で、続いて分析能力と問題を解決できる能力、倫理への意識、計算能力と技術が、この順番で挙げられた。

要するに、読み書きを含めてコミュニケーションができ、問題が解決でき、仕事の場で学ぶことができる従業員をもっとたくさん採りたいと実業界は望んでいるのに、学校が送り出す新卒者の中で、これらができる者の数がどんどん少なくなっているのである。

規模は小さいが、この問題の解決に乗り出したマリエッタRCの教育改善合同委員会のヘンリー・ヒル委員長は教師が一番必要としているのは何かを調べ、その希望を満たす努力をしている。同委員長はさらに、こう語っている——「このプログラムは10年、15年にわたって、何千人もの人たちがかかわるべきものです。クラブの全員が自分の時間を使って努力しないことには、成功できません」

(RI指定記事)

## 『友』英語版第33号誌下旬に発行!

### 色刷りグリーティングカード付

クリスマスカード代わりにご活用を

この号では、前年度日本のRが、ロータリー財団、米山奨学会、ポリオ・プラスをふくむ世界社会奉仕関係で、約2,500万ドル拠出の実績の特集のほか、ポートランド大会参加者の談話

そのほかを掲載。年賀状代わりに使えます。海外の友人、取引先へぜひご送付を。頒価は1部515円(消費税3%、郵送料込)。ご注文はクラブを通じて『友』事務所あてどうぞ。